



抗老化原料と中枢神経系、視覚、記憶の老化に関する国際会議 2004年10月21-22日、パリ

- アンチエイジング原料に関する、科学者による臨床実験にて証明された効能の発表。
- アンチエイジング原料の最新情報の提供と、補助食品や化粧品に含有される原料の本当の効能、効果やその働き。
- 栄養学、ホルモンの面から、一般的な老化現象、とくに中枢神経系、視覚、記憶に関する老化と戦う方法を発表。
- ヒトおいての抗老化テストにおけるいろいろな方法論。
- 実施されている法律、その限界。
- マーケティングアプローチのための理解、現在のトレンドと、抗老化原料の販売促進とそのコミュニケーションのノウハウを紹介。

科学者委員会主要メンバー

*Dr セバスチャン ボネ, Dr パトリック・ボレル, Pr ジャン・マリー・ブレ
Dr フランソワ・クロストル, Dr マービン・イディアス, Dr クリストフ・ド・イェーガー
Dr ベルナール・シュミット, Dr エレン・ド・ヴェシー, Dr ザビエ・ザンロンギ*

2004年10月21日(木)

8h30 **歓迎のご挨拶**

9h00 アンチエイジング原料の総合的説明

- 人口の老化。
- 人口学的見地から解析したデータ。
- 社会的角度と公共における健康インパクトの重要性。
- 老化の原因、理由とその結果は？

Dr **ベルナール・シュミット**, Endocrinologue, Hôpital Sud de Bretagne, Lorient

9h45 一般的なアンチエイジング市場

- どのような製品があるのか？
- どのようなものがアンチエイジング原料といわれているのか？
- トレンド傾向を評価するには？ 分野の成長、限界を見極めるには？
- どのような商品が記憶、視覚および中枢神経に良いのか？

フランソワ・テヴナン氏, IMS Health, Paris

10h30 休憩

11h00 一般的な老化と酸化ストレスおよび抗酸化

- 神経退行現象の病気と酸化ストレス
- 老化とミトコンドリアの変質 : 原因と結果
- いかに酸化ストレスを抑え、抗酸化免疫を高めるか？
- 一般的な老化の研究結果を活用できる、主要な抗酸化とは何か？

- 原料をどのように服用し、組み合わせるのが適しているのか？

Dr マービン・イディアス - フランス抗酸化協会 会長

11h45 中枢神経と神経伝達の病気

- アルツハイマー、パーキンソン、ほかの病の数々。
- 現在の治療法は？
- 認識する能力の衰えといかに戦うか？
- どのような行動を起こせばよいのか？
- イチョウの力：最新研究と臨床実験結果。

Neuropharmacologue, Groupe IPSEN-Beaufour, Les Ulysses, Dr フランソワ・クロストル

12h30 昼食

14h00 オメガ3 脂肪酸(アルファ・リノレン酸)：総括と原点

- オメガ3 の総合論と免疫走性および神経走性。
- どのような病気の予防に、どのくらいのオメガ3 脂肪酸を服用すればいいのか？
- オメガ6 脂肪酸(リノール酸)との関係は？
- ではどのような原料を選択すればいいのか？

Endocrinologue, Hôpital Sud de Bretagne, Lorient, Dr ベルナール・シュミット

14h45 神経医学、老化とともに現れる認識する能力の喪失と、食品での予防：オメガ3脂肪酸

- 神経化学と振る舞いから見た行動のメカニズム
- 最新研究の紹介。
- その効き目と、オメガ6脂肪酸との服用量と関係。
- オメガ3脂肪酸のさらなる効き目のための総括論と根本。

Hôpital Fernand Widal, INSERM U26, Paris、 Pr **ジャン-マリー・ブレ**

15h30 休憩

16h00 老化と記憶

- 記憶のメカニズムと、その問題の対象となるものとは？
- どのように記憶を促進させるか？
 - 新しい分野に興味を持ち、学んでみる
 - 記憶した情報を忘れないようにしてみる
 - 思い出せることの大切さ
- 市場に普及する製品に対するコメント

Suisse Federal Institute of Technology, Institute of Cell Biology, Zurich – Suisse

イザベル・マンシュイ博士

16h45 記憶に関する原料

- 原料の作用の仕方はどんなものか？ 記憶障害の改善はどのようなものが見られるか？
- その効果はいかなるものか？
- どのように投与し、構成するか？
- どのように選択するか？

記憶のための原料

イチョウ	L-チロシン
朝鮮人参	パコパ モニエラ
ブルーベリー	ビタミン B12
レシチン	オステロゲン
ホスファチジルコリン	グルタミン酸
ホスファチジルセリン	ビタミン B6
NADH コエンザイム	マグネシウム
アセチル-L-カルチニン	ビタミン B1
DMAE	Phosphore
Huperzine A	オメガ脂肪酸 3 : EPA, DHA
L-グルタミン	オメガ脂肪酸 6
ビタミン PP	
ヴァンボセチン	

17h30 初日閉会

2004年10月22日(金)

9h00 視覚の老化

- 全体的な紹介
- 視覚の老化から現れる現象
- 視覚の老化の引き起こす病状 : DMLA、カタルクト、グローコム、糖尿病による眼球の病気

Laboratoire d'Explorations Fonctionnelles de la Vision, Clinique Sourdille, Nantes

ザビエ・ザンロンギ博士

9h45 眼球の老化とカロチノイド

- ルテインとゼアクサンチン
- リコピン
- クリプトクサンチン
- これらの原料の研究結果と効果
- どのように構成し、使用するか？

Universite de la mediterranee-Faculte de Medicine U476, Marseille パトリック・ボレル博士

10h30 休憩

11h00 アンチエイジング原料の新製品とは？

原料供給会社が自社原料発表

12h00 カルニチンと中枢神経の老化 : 学問上からと産業的からの見解

- 最近の科学的研究と応用
- 異なる形状のカルチニンとその効果
- 抗酸化作用と神経系保護
- 記憶の老化研究

Universite de Bourgogne ジャン・デマルコワ博士

12h30 昼食

14h00 専門医の意見

- よりよく老いるために
- 食事療法、補助食品、ホルモン治療
- サプリメント摂取適齢期は？
- サプリメントへの抗老化原料の投与量は？

Societe Francaise de Medicine et Physiologie du Vieillissement, Paris

クリストフ・ド・イエーガー博士

14h45 補助食品サプリメントの法規定

- 抗老化原料のうちフランスで認可されている原料は？
- 以下の原料の法規定見解：カロチノイド、レシチン、ビタミン PP、カルニチン、アミノ酸、ビタミン全般、ミネラル、植物、その他
- 抗老化原料の認定：どのような経緯をたどるのか
- どのような製品にどのような注意書きが必要か？

De Vecchy Conseil, Paris エレン・ド・ヴェシー博士

挙手質問会

15h30 休憩

16h00 抗老化原料におけるマーケティング見解

- 健康という題目に結びつける
- どのようなコンセプトを掲げるか？
- 食品、補助食品、化粧品 - ブランドが必要としている原料を見極める
- 革新的な策がどのように練られるか？

Dibrco, Paris デディエ・ブリュネー氏

16h45 閉会